

昨年度の寄附実績額

2,208,000円 (84件)

ご支援ありがとうございました。

# 平和祈念像「原型」復活プロジェクト 沖縄平和祈念像「原型」とは？

沖縄の偉大な芸術家(故)山田真山画伯が、全戦没者の追悼と世界平和を願い、晩年の18年の歳月を捧げ制作されました。糸満市摩文仁の沖縄平和祈念公園にある沖縄平和祈念像は、この原型から石膏により型をとり制作されたものです。令和4年3月30日には、公益財団法人沖縄協会と「平和祈念像原型」の譲渡式を執り行いました。

本市は、この原型を修復し公開を予定しており(※)クラウドファンディングによって全国の皆さまから寄附を募集しております。

(※) インターネットを通して、思いに共感した人や活動を応援したいと思ってくれる人から資金を募るしくみ。

## 寄附の受付期間

令和4年度

6月中旬～9月中旬 実施予定  
※決まり次第、市ホームページに掲載  
します。

プロジェクト期間中(令和8年度まで予定)に寄附された額の合計が、**5万円以上**の方には、原型展示棟の**奉名板に名前を表示**することができます！

プロジェクト概要等はこちらのサイトからご覧になれます▼



新垣専務理事(中央左)、知念教育長(中央右)

寄附の方法などは、宜野湾市ホームページまたは、下記までお問い合わせください。

問い合わせ 企画政策課 ☎893-4461(直通)

## 第4回「アメリカで沖縄の未来を考える(TOFU)」プログラム(オンライン)参加報告

外務省による海外派遣プログラム(TOFUプログラム※)が、令和4年3月22日～24日に実施されました。第4回目となる本プログラムは、新型コロナウイルスの影響を踏まえオンライン形式で実施され、本市からは3名が参加しました。

※TOFUプログラムとは…「アメリカで沖縄の未来を考える(TOFU:Think of Okinawa's Future in the U.S)」プログラムの略称。沖縄の将来を担う高校生・大学生を米国に派遣し、関係者との意見交換や各種視察等を通じ、語学としての英語力向上を図るとともに、英語を用いて様々な分野について学ぶ教育機会を提供することを目的としたもの。



オンライン交流の様子



上杉謙太郎外務大臣政務官表敬



国際協力機構(JICA)オンライン訪問



グループ発表

横山綾香さん TOFUプログラムに参加を通じ、沖縄県民、日本政府、アメリカ政府、それぞれの立場があるからこそ、基地問題の課題解決が困難であることを理解し、同時に双方の想いを大切にしつつ友好関係を維持することが重要であると学びました。それに加え、沖縄を大切に思う県民の想いや文化など、今まで知り得なかった魅力を多く知ることができ、沖縄が大好きな場所となりました。だからこそ、大切な沖縄を更に守りつつ発展させ、沖縄に住む人々が笑顔で安心して暮らせるよう、私自身双方の立場や想いを発信し続けることで、宜野湾市、沖縄県に貢献していきたいです。

仲村くりあさん TOFUプログラム中は、勉強になる事ばかりであったという間の3日間でした。日米関係の現状を知ると同時に、どうすれば日米関係をさらに良好にしていけるかと考えるのが深かったです。他の参加者の交流では沢山の意見を伺うことができ、非常に勉強になりました。学生という立場の私たちにしかできない発信、発言の仕方があってはならないかと感じ、これからの日米関係について、県外、国外の方々へも伝えていきたいです。今回のプログラムに関わってくださった全ての方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

新垣砂音さん この3日間を通して、県民は全員が基地反対と思われている現状を知りました。私にはただけ外国の血が流れています。もし基地がなければ、私はこの場にいません。基地があることでメリットデメリットは様々です。しかしこの問題を考える中で、高橋尚子国連政務官がおっしゃられていた、「性別、日本人という枠にとらわれず」私たちが担っていく社会の未来をしっかりと考えていくことがとても重要になります。まだ学生だからと他人事にと捉えず考えていこうと思えました。

問い合わせ 基地渉外課(内線5212)